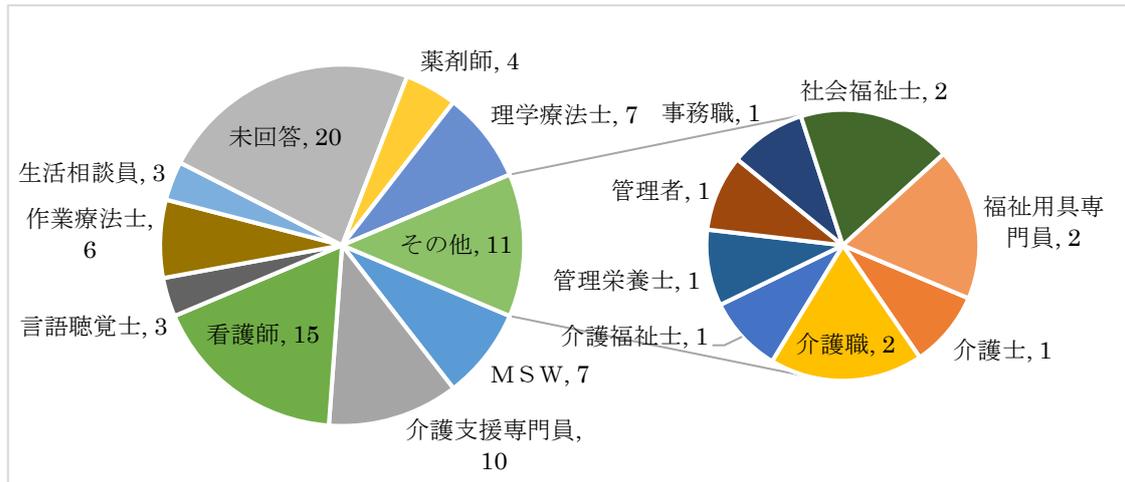


アンケート結果 （“絆”研修 ① 4/23）

◎ 参加者 81 人、多職種研修 WG 委員の参加者 9 人 計 90 人の
アンケート回収 86 人（回収率 96%）

1. 職種



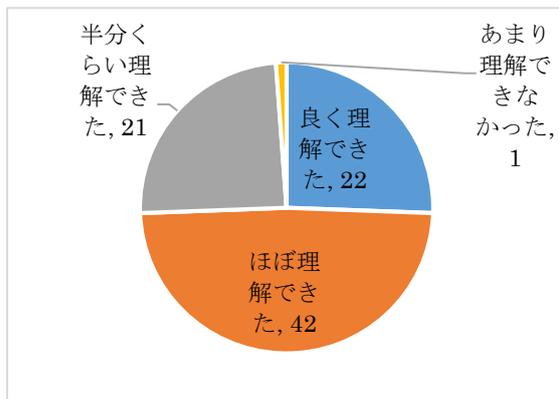
2. 年齢



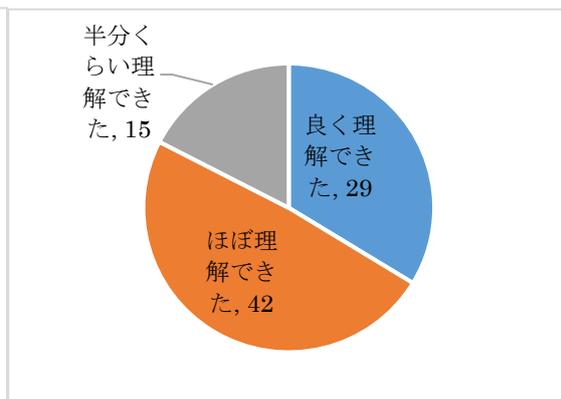
3. 多職種研修の参加回数



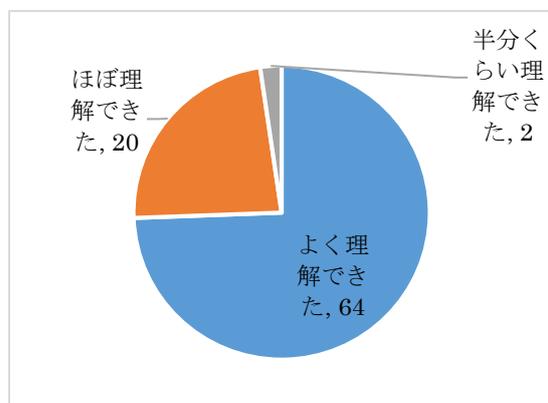
4. 地域包括ケアの理解



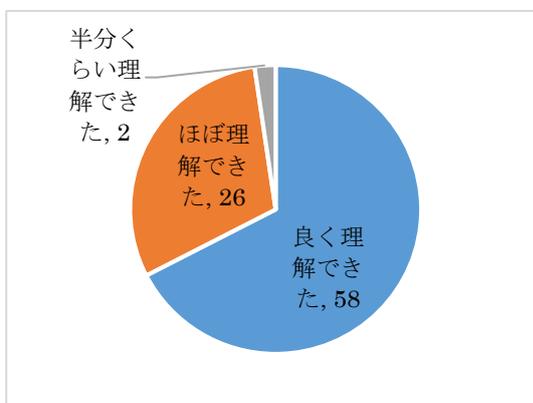
5. 多職種の役割の理解



6. 退院前カンファレンスの重要性



7. 価値観の多様性、本人を尊重した合意形成の重要性の理解



8. 研修評価

①研修時間		②難易度		③積極的に参加できたか		④ファシリテータの仕事ぶり	
評価	人数	評価	人数	評価	人数	評価	人数
1 (長い)	6	1 (難しい)	0	1 (できた)	13	1 (よかった)	49
2 ↓	17	2 ↓	14	2 ↓	34	2 ↓	26
3 ↓	62	3 ↓	61	3 ↓	27	3 ↓	11
4 ↓	1	4 ↓	10	4 ↓	11	4 ↓	0
5 (短い)	0	5 (やさしい)	1	5 (できなかった)	1	5 (悪かった)	0
	86		86		86		86

(自由記載意見・感想の一部)

- ・ 経験のある人、初めての人等様々な職種の方と触れ合う事が出来良かった。
- ・ 多職種の立場に立ちカンファレンスをする事は初めてだったが、職種によってものの見方、捉え方があると感ずることができた。
- ・ カンファレンスを多職種の視点から見るといい機会をもらった。今後のカンファレンスに活かして行きたいと思った。
- ・ 実際の模擬カンファレンスで多職種を演じる難しさを感じた。視点の違いを理解できたので、必要な情報をきちんと伝えて在宅支援へつなげて行けたらと思う。
- ・ グループワークをしつつ他の方の意見を聞き、理解することができた。グループワークの大切さが分かった。時間を区切って行う事で、整理して発言しなければならないと実感した。
- ・ グループ討議の時間をもう少し長く取って欲しかった
- ・ 入退院に対して、本人や妻の不安感をどうやって軽くしていくか、そのために考えて行くべき支援方針はどんな選択や考え方があるのか話し合う時間が、もう少し欲しかった。